



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニックトー  
コード番号 5367 URL <http://www.nikkato.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西村 隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 土井 祐二

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 072-238-3641

平成26年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,684	△6.2	117	△22.5	132	11.7	83	23.5
26年3月期第2四半期	3,925	△2.7	152	△44.8	118	△58.5	67	△55.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	6.91	—
26年3月期第2四半期	5.60	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	11,934	8,877	74.4	743.66
26年3月期	11,668	8,777	75.2	735.26

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 8,877百万円 26年3月期 8,777百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,400	6.2	325	△6.2	350	7.1	210	9.7	17.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	12,135,695 株	26年3月期	12,135,695 株
27年3月期2Q	198,594 株	26年3月期	198,367 株
27年3月期2Q	11,937,215 株	26年3月期2Q	11,937,401 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、前年度の好調を受けスタートいたしました。4月から消費税がアップいたしましたことによる景気の反動から中々抜け切らず、また新興国の経済の回復が遅れていることなどにより、一転停滞感の中で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社は前期末で増加いたしました受注残高を活かすべく社内外にて積極的な活動を行いました。この結果、売上高は3,683,580千円となり、前年同期比6.2%の減収となりました。

事業別では、セラミックス事業は電池材料の熱処理用容器が好調であった耐熱セラミックス以外は総じて振るわず、前年同期比2.5%減収の2,661,658千円となりました。市場別売上高構成比率では、電子部品向け54.3%、化学・窯業・鉄鋼向け19.1%、環境・エネルギー向け3.6%となりました。

エンジニアリング事業につきましては、昨年は上半期に大型物件があったことで前年同期比14.5%減収の1,021,921千円となりました。市場別売上高構成比率では、電子部品向けが41.6%、環境・エネルギー向け25.4%、半導体向けが15.0%となり、この3分野向けで8割以上を占める結果となりました。

損益面につきましては、前述いたしましたように売上高の減少が大きく響き、営業利益は前年同期比22.5%減益の117,407千円となりました。一方、経常利益は前年度に100周年記念行事費用があったものが今年度はなかったことから同11.7%増益の132,230千円、税引前四半期純利益は同9.1%増益の128,494千円、四半期純利益も同23.5%増益の82,519千円となりました。

当第2四半期末の配当につきましては、予定通りの1株につき5円とさせていただきます。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産・負債純資産の状況

資産は、流動資産で前払金等の増加により前期末比6.1%増加しましたが、固定資産で減価償却の進行等により前期末比2.7%減少しましたため、前期末比2.3%増の11,934,408千円となりました。

負債は、流動負債が前期末比0.6%の微減ながら、固定負債が長期借入金や繰延税金負債の増加により前期末比50.1%も増加しましたため、前期末比5.8%増の3,057,316千円となりました。

純資産につきましては、株主資本にほぼ増減なく推移しましたが、株式市場における保有株式の株価上昇に伴い、その他有価証券評価差額金が増加しましたため、前期末比1.1%増の8,877,091千円となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末の現金及び現金同等物は1,422,652千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、大口前払金の発生によりその他資産の大幅減となり、276,205千円のマイナスとなりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得を同額の定期預金の解約でカバーしましたが、設備投資に伴う機械装置等有形固定資産取得で54,591千円のマイナスとなりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済や配当金の支払いを長期借入金の調達で賄いましたため、52,487千円のプラスとなりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済見通しにつきましては、ここのところ好調であった米国経済も失速気味で世界経済の先行きも不透明な中、わが国におきましても予想はされておりましたが、所謂「アベノミクス」の「3本目の矢」は実効性が乏しく、また来年に予想される消費税の再値上げを控えて、盛り上がり欠ける状況が続いております。そのような状況の中、当社は年間売上高84億円、営業利益3億25百万円、経常利益3億50百万円、当期純利益2億10百万円を目指し、全社をあげて努力いたしてまいります。

(注) 本資料に記載している業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,690,343	1,562,027
受取手形及び売掛金	2,734,785	2,624,820
有価証券	30,618	30,624
商品及び製品	594,367	643,524
仕掛品	1,188,377	1,232,570
原材料及び貯蔵品	286,354	287,786
その他	99,102	647,498
貸倒引当金	△500	△500
流動資産合計	6,623,448	7,028,353
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,604,825	1,566,664
機械及び装置(純額)	1,206,653	1,110,109
その他(純額)	689,406	680,383
有形固定資産合計	3,500,885	3,357,157
無形固定資産	25,710	24,152
投資その他の資産	1,517,585	1,524,744
固定資産合計	5,044,181	4,906,054
資産合計	11,667,629	11,934,408
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	146,842	335,811
買掛金	1,184,099	989,044
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	221,448	232,644
未払金	205,916	261,259
賞与引当金	184,800	182,600
役員賞与引当金	14,125	7,062
その他	172,410	107,153
流動負債合計	2,529,642	2,515,575
固定負債		
長期借入金	100,048	224,204
退職給付引当金	6,993	-
役員退職慰労引当金	115,806	122,456
資産除去債務	38,041	38,365
その他	99,999	156,715
固定負債合計	360,888	541,741
負債合計	2,890,530	3,057,316

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320,740	1,320,740
資本剰余金	1,225,438	1,225,438
利益剰余金	6,162,248	6,161,206
自己株式	△86,295	△86,387
株主資本合計	8,622,131	8,620,998
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	154,967	256,093
評価・換算差額等合計	154,967	256,093
純資産合計	8,777,099	8,877,091
負債純資産合計	11,667,629	11,934,408

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

	(単位：千円)	
	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	3,925,214	3,683,580
売上原価	3,173,010	2,979,820
売上総利益	752,204	703,759
販売費及び一般管理費	600,648	586,352
営業利益	151,555	117,407
営業外収益		
受取利息	1,148	1,009
受取配当金	13,611	14,146
その他	8,152	7,692
営業外収益合計	22,912	22,848
営業外費用		
支払利息	5,828	5,107
100周年記念行事費用	47,750	-
コミットメントフィー	2,545	2,637
その他	0	280
営業外費用合計	56,123	8,025
経常利益	118,344	132,230
特別損失		
固定資産廃棄損	519	3,735
特別損失合計	519	3,735
税引前四半期純利益	117,824	128,494
法人税、住民税及び事業税	63,100	41,000
法人税等調整額	△12,098	4,975
法人税等合計	51,001	45,975
四半期純利益	66,822	82,519

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	117,824	128,494
減価償却費	300,538	248,751
貸倒引当金の増減額(△は減少)	300	-
受取利息及び受取配当金	△14,759	△15,155
支払利息	5,828	5,107
投資有価証券売却損益(△は益)	-	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,815	△7,812
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,650	6,650
固定資産廃棄損	519	3,735
売上債権の増減額(△は増加)	△174,173	109,964
たな卸資産の増減額(△は増加)	△70,980	△94,782
その他の資産の増減額(△は増加)	31,481	△549,980
仕入債務の増減額(△は減少)	106,121	△6,087
未払消費税等の増減額(△は減少)	49,141	△5,778
その他の負債の増減額(△は減少)	12,075	△17,158
小計	373,383	△194,051
利息及び配当金の受取額	14,564	14,970
利息の支払額	△6,186	△5,521
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	26,089	△91,602
営業活動によるキャッシュ・フロー	407,850	△276,205
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△124,893	△52,996
無形固定資産の取得による支出	△4,217	△273
投資有価証券の取得による支出	△944	△100,891
投資有価証券の売却による収入	50,000	1
貸付けによる支出	△1,000	△1,000
貸付金の回収による収入	1,108	364
定期預金の払戻による収入	-	100,000
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△1,808	204
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,755	△54,591
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△100,000	-
長期借入れによる収入	200,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△150,416	△164,648
自己株式の取得による支出	△83	△91
配当金の支払額	△53,925	△82,772
財務活動によるキャッシュ・フロー	△104,424	52,487
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	221,669	△278,308
現金及び現金同等物の期首残高	1,188,820	1,700,961
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,410,490	1,422,652

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,730,581	1,194,633	3,925,214	3,925,214
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,730,581	1,194,633	3,925,214	3,925,214
セグメント利益	105,011	46,543	151,555	151,555

当第2四半期累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,661,658	1,021,921	3,683,580	3,683,580
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,661,658	1,021,921	3,683,580	3,683,580
セグメント利益	106,409	10,998	117,407	117,407